

リハビリテーション学科

【科目名】		人体の構造と機能及び疾病		【担当教員】	村井 絹子
【授業区分】	専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】		(メールアドレス)	
【開講時期】	後期	【選択必修】	必修	murai@nur05.onmicrosoft.com	
【単位数】	1	【コマ数】	15コマ	(オフィスアワー) 月曜・木曜 8:30～17:30	
【注意事項】					
(受講者に関わる情報・履修条件)					
この科目は公認心理師養成のための必修科目となる。以下の - をはじめ、公認心理師としての医学的基礎を理解する。 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害 がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病					
(受講のルールに関わる情報・予備知識)					
医学の基礎として人体の構造と機能及び疾病について学習する。 この講義のほかに「解剖学」や「生理学」、「内科学」などの医学関連科目を受講するとより理解を深めることができる。					
【講義概要】					
(目的)					
公認心理士を目指す人の必修科目であるため、人の成長・発達や日常生活との関連性を踏まえた理解を目指す。 また、様々な職種と協働しながら支援等を主体的に実践するため、必要な医学的知識を修得し、より専門性の高い領域へ進む基礎となるようにする。 当該科目と学位授与方針等との関連性；A-2 当該科目と学位授与方針等との関連性；R-1					
(方法)					
指定した教科書を使用し、講義を行う。					
【一般教育目標(GIO)】					
心の問題と、そのことが原因となる身体的問題を生物学的に理解するために、正常な人体構造と機能の基礎知識を習得する。また、疾病がもたらす心理面への影響やその支援のあり方を理解するために、人体の構造や機能を踏まえ、疾病に関する基本的な知識を修得する。					
【行動目標(SBO)】					
・各臓器の構造と機能を説明できる。 ・人体の解剖学的用語を説明できる。					
【教科書・リザーブドブック】					
【参考書】					
【評価に関わる情報】					
(評価の基準・方法)					
成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 100点満点で60点以上を合格とする。					

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		60	40						100
評価指標	取り込む力・知識	60	40						100
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1-2回目	オリエンテーション 細胞、組織、器官、器官系	講義	知識の確認	90
3-4回目	身体の構造と機能 脳神経系	講義	1回目の復習(小テスト)	90
5-6回目	身体の構造と機能 骨・関節・筋肉系	講義	2回目の復習(小テスト)	90
7-8回目	身体の構造と機能 循環器系	講義	3回目の復習(小テスト)	90
9-10回目	身体の構造と機能 呼吸器系	講義	4回目の復習(小テスト)	90
11-12回目	身体の構造と機能 消化器系	講義	5回目の復習(小テスト)	90
13-14回目	身体の構造と機能 内分泌系	講義	6回目の復習(小テスト)	90
15-16回目	身体の構造と機能 感覚器系	講義	7回目の復習(小テスト) 8回目の復習(小テスト)	90